

令和5年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

| | |
|--------|--|
| 申請事業名 | 秋の防災フェス ～つなげよう子ども達へ、広げよう地域の輪～ 【 1 】 |
| 申請団体 | 地域防災力向上・自治会員増員実行委員会 |
| 事業目的等 | <p>事業目的 地域防災を切り口に地域住民の交流の場を創出し、地域ぐるみで防災意識を高めることを目的とするが、事業内容が防災関連のみでは子ども達(子育て世代)の来場はあまり期待できないため、会場に足を運びたいくなるような催物を組み込むことにより、まずは来場してもらい、併せて防災意識を高めてもらう。 また、自治会未加入世帯に対しては自治会活動の必要性を周知し、加入促進を図るもの。</p> |
| 交付決定日 | 令和5年9月4日 |
| 交付確定金額 | 95,000 円 (全体事業費 130,394 円) |
| 団体実績報告 | <p>事業実績 令和5年10月8日(日)10時30～12時30分 【参加者】 自治会員 170人(大人 120人、子ども 50人) 自治会員以外 6人(大人6人) 消防団 6人 新磯分署 2人 合計 184人</p> <p>自己評価 子ども向けの催物を組み込んだことにより、子ども達の参加が多く、子育て世代を上手く呼び込むことができた。炊き出し訓練として実施した焼きそばについても、公会堂内でのパック詰めから配布までの流れの確認もでき、災害時にスムーズに対応ができると感じた。 地域住民の交流を図りつつ、防災意識の向上を目的とした今回の防災フェスは十分な効果があったと考える。</p> |
| 市 評 価 | <p>事業目的である地域防災を切り口に地域住民の交流の場を創出し、地域ぐるみで防災意識を高めることを見事に成し遂げたため。また、自治会員以外の参加も確認でき十分な実績及び成果があったといえる。</p> |
| 備 考 | |

令和5年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

| | |
|--------|---|
| 申請事業名 | 麻溝の地域遺産普及啓発事業 [2] |
| 申請団体 | 麻溝の地域遺産を未来につなぐ会 |
| 事業目的等 | <p>事業目的</p> <p>麻溝地区の人たちが大切にしてきた貴重な地域遺産をきちんと保存していくとともに、多くの人にその魅力を知ってもらうことが、地域に対する愛着につながり、地域の振興やコミュニティの維持・発展にも資すると考えている。</p> <p>中でも、地域遺産の啓発用案内板は、普段麻溝で生活している人や麻溝を訪れた人にその魅力を知ってもらうことが期待でき、普段は地域遺産に興味・関心がない人にも情報発信することで気付きを与えることができる。そして、麻溝に素敵な地域遺産があることを知った人が「麻溝の地域遺産を未来につなぐ会」に賛同し、会員になることで更なる発展が期待できる。</p> <p>また、今年度から「地域遺産探訪ハイキング」を麻溝公民館の企画持込事業とすることで、昨年度以上に連携が取れる体制を整え、参加者増加及び会員確保につなげる。</p> |
| 交付決定日 | 令和5年9月27日 |
| 交付確定金額 | 349,000 円 （全体事業費 350,049 円） |
| 団体実績報告 | <p>事業実績</p> <p>十二天神社境内に設置されている「関東大震災崖崩れ復興記念碑」(国土地理院の自然災害伝承碑)及び山の神神社境内に設置されている「雹塚」(雹除け祈願の六角柱の地神塔)の案内看板を設置した。</p> <p>また、地域探訪ハイキング「当麻山の門前町下当麻を訪ねて」を麻溝観光協会等と共催で開催し、28名の参加を得て、大変好評だった。</p> <p>さらに、麻溝公民館文化展での展示発表、損耗が懸念される古い石碑の記録を拓本として後世に残したり、これまで調査してきた地域遺産の記録をまとめた資料を一般の閲覧に供する取組なども進めた。</p> <p>自己評価</p> <p>関東大震災発生から100年の節目に当たり、旧市内唯一の自然災害伝承碑である「関東大震災崖崩れ復興記念碑」の案内看板を設置し、過去の災害の教訓を次世代に継承していく環境が整った意義は大きい。また、「雹塚」は全国的にも大変珍しい六角柱の雹除け祈願の地神塔であり、多くの方にその魅力にふれてほしい。新たに古い石碑の記録を拓本として残す取組も始め、会の活動の幅を広げることができた。</p> <p>今後は、会の活動への賛同者を増やししながら他団体等との連携を一層進め、地域の魅力づくりに貢献できるように取り組んでいきたい。</p> |
| 市評価 | <p>これまで地域内でもあまり知られていなかった「関東大震災崖崩れ復興記念碑」及び「雹塚」の案内看板の設置、探訪ハイキングの実施や公民館文化展への参加などにより、貴重な地域遺産を地域の方々に周知し、地元への誇りや関心を深めるための足掛かりとなる取組が展開されている。</p> <p>また、古い石碑の記録を拓本として後世に残す活動も開始され、今後の更なる事業の継続・発展を期待したい。</p> |
| 備考 | |

令和5年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

| | |
|--------|--|
| 申請事業名 | おもしろ防災まつり ～ドキドキわくわく楽しみながら防災を知ろう～ 【 3 】 |
| 申請団体 | 麻溝防災まつり実行委員会 |
| 事業目的等 | <p>事業目的</p> <p>コロナ禍を経て、単位自治会における防災訓練の開催を見通すことが困難である中、自治会加入未加入の区別なく、楽しみながら防災意識を高め、参加者に向けて防災知識や備蓄など「自助」の取り組みの実施につながる体験等を提供するとともに地域防災活動の担い手育成を推進することを目的とする。なお、事業内容が防災関連のみでは子ども達(子育て世代)の来場はあまり期待できないため、会場に足を運びたいくなるような「炊き出し企画」や「こども企画」、「体験企画」を組み込むことにより、まずは来場してもらい、併せて防災意識を高めてもらう。また、自治会未加入世帯に対しては自治会活動の必要性を周知し、加入促進を図るもの。</p> |
| 交付決定日 | 令和6年1月12日 |
| 交付確定金額 | 433,000 円 (全体事業費 433,439 円) |
| 団体実績報告 | <p>事業実績</p> <p>【日時】令和6年2月4日(日)10時30～14時30分 【会場】麻溝公民館(第一駐車場及び第二駐車場含む) 【参加者】約1,000人 【内容】スタンプラリー企画における防災体験(起震車、電気自動車の活用、マイタイムライン作成、防災アプリ、段ボールベッド展示、防災講演会、防災用品展示、災害救助犬デモンストレーション、避難所運営 VR 体験、119番通報ゲーム、AED 講習)、炊き出し食の体験(防災カレー、豚汁うどん、焼き芋)、段ボールこたつ体験(段ボールこたつカフェ:珈琲、クレープ)、こども企画(水消火器で射的、ミニ消防服で記念撮影、麻溝ジュニアリーダーズクラブによるこども遊び、SC相模原によるサッカーゴルフ)、アンケートコーナー(麻溝地区自治会連合会による自治会加入促進)</p> <p>自己評価</p> <p>メインターゲットを「子ども」としたことにより、子ども達(親子連れ)の参加が多く、子育て世代を上手く呼び込むことができた。 想定以上の参加者数となり、次年度以降に改善すべき点もあるが、参加者及び運営スタッフともに楽しみながら実施できたことで地域の絆がより一層深まったと考える。 また、参加者アンケート結果から今回のおもしろ防災まつりの実施により、地域住民の防災意識の向上及び地域の活性化において十分な効果があったと考える。</p> |
| 市評価 | 事業目的である自治会加入未加入の区別なく、楽しみながら防災意識を高め、参加者に向けて自助の取組実施につながる体験等を提供するとともに地域防災活動の担い手育成を推進することを見事に成し遂げた。また、多くの参加者が確認でき、十分な実績及び成果があったといえる。 |
| 備考 | |